

謹賀新年



ウィズ
withコロナの時代を生きる

神崎町議会議長 大原 秀雄

こうした中、他の多くの自治体同様、本町も少子高齢化、人口減少など様々な難題を抱えながら社会資本の整備、教育や福祉の更なる充実をはじめ、広範かつきめ細かな行政サービスが求められております。議会といたしましては、町民参加の機会の充実に努め、より効果的な施策を検討するとともに、いただいたご意見を形にできる体制を整えるべく機能強化にも取り組んでまいります。そして今般のコロナ禍の早期収束を願いながら町民が夢と希望を持ち活躍できるまちづくりを目指すとともに、町民に信頼される議会となるよう議会の活性化に努めてまいります。

結びに、本年も議会に対して皆様の一層のご支援ご協力を賜りますとともに、新しい年が実り多い希望に満ちた年となりますことを心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

さて現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が蔓延し、様々な影響がでております。本町においても町民生活や地域経済に多大なる影響を及ぼし、先の見通しが立たない大きな不安を抱えていることと存じます。そんな中で、政府も過去最大の経済対策予算を組み経済の活性化に取り組みしております。今後は新型コロナウイルスとの共存共生を図る「withコロナ」を念頭に感染予防を徹底しながら、町民の付託を受けた議会として努力をしてまいります。

私は、昨年8月議会において、議長に就任いたしました。微力ではございますがその責任の重さを自覚し、神崎町の発展のため全力を傾注してまいります。

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様方には輝かしい令和4年の新春をお迎えのことと存じます。また、日頃から町政及び議会活動に多大なるご理解とご協力を賜り、議会を代表し厚く御礼申し上げます。



活気溢れるまちづくりを目指して

神崎町長 椿 等

令和4年度は、子育て支援の充実を図るための母子保健医療総合支援の新たな展開や、防災と環境整備に着目した災害に強い森づくり事業、松崎地区土地改良等による農業基盤整備、基幹町道の整備等による交通基盤の充実など、ずっと神崎町に住みたいと思えるまちづくりを目標にし、人口減少や少子高齢化に対応する、きめ細かな政策の取り組みに努めてまいります。

新しい年が皆様にとって、ご健康で幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

神崎町は第5次総合計画を基本に、子育て支援、神崎インターチェンジ周辺開発、そして伝統の発酵をテーマにしたまちづくりを進めています。圏央道4車線化と神崎PA(仮称)が事業化され、神崎ICは千葉県の北の玄関口としての役割が増し、北総地域のランドマーク的な期待が高まっています。その活性化拠点である道の駅発酵の里こうざきは、PAからの利便性を高める連携と施設の拡充を進めるべく着々と計画、設計を進めており、ハイウェイオアシスを想定した周辺整備を目指しています。

大きな影響を受けつつ開催された東京五輪では多くの感動が生まれましたが、本町にも更に元気をなぎやる活気を取り込みたいという思いの中で、安全に配慮しながら、神崎発酵マラソン大会を今春5月に予定しています。また、コロナ関連支援策の各種給付金等が皆さんの手元に迅速に届くよう支給の手配を進めるとともに、町独自の感染予防や経済支援策も併せて随時展開してまいります。

昨年はいよいよ変異株が出現するなど、新型コロナウイルス感染症の影響によって、暮らしや経済活動が一変し、新しい生活様式への転換を余儀なくされました。3度の緊急事態宣言が発せられた中、感染者数の抑制に大きな要因となっているワクチン接種が、本町では県下でのいち早い実施が功を奏し、現在、町全体で88%の方が2回目接種を終えました。今後は、第6波への警戒と3回目のワクチン接種を、2月から集団接種等で実施してまいります。

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

